

第3学年外国語活動学習指導案

時間・場所 公開授業② 第2音楽室

学 級 3年3組 29名（男子15名，女子14名）

指 導 者 大槻 奈緒子

1 単元名 What's this? 「これなあに？」(Let's Try!1 Unit8)

2 単元について

本学級の児童は、3年生から始まった外国語活動を楽しみにしている。これまでに、世界には様々な国があることを知り、自分の名前や好みを紹介したり友達の好みを探ねたりする活動を行ってきた。外国語活動の時間以外にも英語で挨拶をするなど、英語を使って話すことを楽しんでいる児童が多くいる。しかし中には英語を使うことに戸惑いを感じ、コミュニケーション活動に消極的な児童もいる。

本単元では、身の回りの物の言い方や、ある物が何かを探ねたり答えたりする活動を行う。普段食べている野菜や果物、身近な動物を取り上げ、外来語とそれが由来する英語の違いに気付かせながら、英語での言い方に慣れ親しませていく。3年生の外国語活動のまとめとして、単元の最後にクイズ大会を行う。これまで学習してきた表現を使って児童が積極的に活動できるようにしたい。

指導にあたって、まず単元のゴールの姿を示し、単元の見通しをもたせる。クイズ大会に向けて意欲が高まるように様々なクイズを組み込んでいく。チャンツやクイズを通して **What's this? Hint, please. It's~. That's right.**等の表現に慣れ親しませていきたい。やりとりをする際に相手の理解の手助けとなるようジェスチャーをしたり、絵を示したり、ヒントを出す時の種類や順序などを工夫させたりする。また、ペアやグループ、全体など様々な形態での活動を取り入れ、友達との英語でのコミュニケーションを楽しませたい。

3 単元目標及び評価規準

(1) 単元目標

- ・進んで、クイズを出したり答えたりしようとする。
- ・身の回りの物の言い方や、ある物が何かを探ねたり、それが何かを答えたりする表現に慣れ親しむ。
- ・外来語とそれが由来する英語の違いに気付く。

(2) 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
進んでクイズを出したり答えたりしようとしている。	身の回りの物の言い方や、ある物が何かを探ねたり、それが何かを答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	外来語とそれが由来する英語の違いに気付いている。

4 単元計画（総時数5時間）

時	目標	主な学習内容
1	外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方に慣れ親しみ、ある物が何かを探ねたり答えたりする表現を知る。	これは何か、たずねよう。
2	身の回りの物の言い方や、ある物が何かを探ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	ヒントクイズをしよう。
3	ある物が何かを探ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	クイズを出したり答えたりしよう。
4	ある物が何かを探ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	クイズ大会の準備をしよう。
5	相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。	クイズ大会をしよう。【本時】

5 本時の指導 (5/5)

(1) 目標

相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。

(2) 「振り返り」の工夫

- ・板書を使って単元を振り返り、相手に伝わるようにヒントを工夫できたことや、英語を使ってクイズを出したり答えたりして友達とやりとりができたことを価値付ける。
- ・「単元を通して付いた力」「クイズ大会をして思ったこと」という視点を示して振り返りを書かせ交流し、本単元の学びを自覚させる。

(3) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点と評価 (□)
導入 5分	1 挨拶をする。 Hello. I'm happy. 2 Let's sing. "Head, Shoulders, Knees and Toes." 3 本時の見通しをもち、めあてをつかむ。 クイズ大会をしよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェスチャーをしながら歌い、外国語活動の時間の雰囲気作りをする。 ・本時のメニューを提示し見通しと課題意識をもたせる。
展開 30分	4 Let's Chant "What' this?" 5 クイズ大会をする。 A:What's this? B:Hint,please. A:Hint1.It's a fruit. Hint2.It's a yellow. Hint3.It's a monkey. What this? B:It's a banana. A:That's right.	<ul style="list-style-type: none"> ・尋ねる人と答える人に分けられたり、ジェスチャーを入れたりして、何度も言わせることで表現に慣れさせる。 ・デモンストレーションを行い、活動をイメージさせることで、積極的にクイズ大会ができるようにする。 ・Hint, please. That's right.等の表現を積極的に使っている児童を認めていく。 ・ヒントの順序などを工夫し、分かりやすいヒントを出している児童に全体の前で出題させ、全員で回答することでまとめとする。 <p>相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしている。 【学習活動の様子・振り返りシート】</p>
終末 10分	6 振り返りをする。 ①本時の振り返りを書く。 ②単元の振り返りを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・板書を使って単元を振り返り、相手に伝わるようにヒントを工夫できたことや、英語を使ってクイズを出したり答えたりして友達とやりとりができたことを価値付ける。 ・「単元を通して付いた力」「クイズ大会をして思ったこと」という視点を示して振り返りを書かせ、交流することで本単元の学びを自覚させる。 <p>いろいろなクイズを出したり答えたりすることができて楽しかった。(第Ⅱ型) ○○さんは、ジェスチャーを入れてヒントを出していて分かりやすかったので、今度は家の人にもクイズを出してみたい。(第Ⅲ型)</p>
	7 Goodbye Song を歌う。	

第3学年外国語活動学習指導案

時間・場所 公開授業① 第2音楽室

学 級 3年1組 30名(男子15名, 女子15名)

指 導 者 高橋 幸代

1 単元名 What's this? 「これなあに？」(Let's Try!1 Unit8)

2 単元について

本学級の児童は、3年生から始まった外国語活動の時間を楽しみにしている。これまでに、世界には様々な国があることを知り、自分の名前や好みを紹介したり友達の好みを尋ねたりする活動を行ってきた。英語を使って話すことを楽しんでいる児童が多いものの、中には英語を使ったコミュニケーション活動に戸惑いを感じ、消極的な児童もいる。

本単元では、身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする活動を行う。普段食べている野菜や果物、身近な動物を取り上げ、外来語とそれが由来する英語の違いに気付かせながら、英語での言い方に慣れ親しませていく。3年生の外国語活動のまとめとして、単元の最後にクイズ大会を行う。これまで学習してきた表現を使って児童が積極的に活動できるようにしたい。

指導にあたって、まず単元のゴールの姿を示し、単元の見通しをもたせる。クイズ大会に向けて意欲が高まるように様々なクイズを組み込んでいく。チャンツやクイズを通して **What's this?**

Hint, please. It's~. That's right.等の表現に慣れ親しませていきたい。やりとりをする際に相手の理解の手助けとなるようジェスチャーをしたり、絵を示したり、ヒントを出すときに種類や順序などを工夫させたりする。また、ペアやグループ、全体など様々な形態での活動を取り入れ、友達との英語でのコミュニケーションを楽しませたい。

3 単元目標及び評価規準

(1) 単元目標

- ・進んで、クイズを出したり答えたりしようとする。
- ・身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり、それが何かを答えたりする表現に慣れ親しむ。
- ・外来語とそれが由来する英語の違いに気付く。

(2) 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
進んで、クイズを出したり答えたりしようとしている。	身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたりそれが何かを答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	外来語とそれが由来する英語の違いに気付いている。

4 単元計画 (総時数5時間)

時	目標	主な学習内容
1	外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方に慣れ親しみ、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を知る。	これは何か、たずねよう。
2	身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	ヒントクイズをしよう。
3	ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	クイズを出したり答えたりしよう。【本時】
4	ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	クイズ大会の準備をしよう。
5	相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。	クイズ大会をしよう。

5 本時の指導 (3/5)

(1) 目標

身の回りに物の言い方や、あるものが何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

(2) 「振り返り」の工夫

- ・板書をもとに本時を振り返り、何度もクイズを出したり答えたりできたことを価値付ける。
- ・「気付いたこと」という視点を示して児童に振り返りを書かせ、相手に伝わるように工夫しながらヒントを考え積極的に活動したことを自覚させる。

(3) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点と評価 (□)
導入 5分	1 挨拶をする。 Hello. I'm happy. How are you? 2 Let's sing "Head, Shoulders, Knees and Toes." 3 本時の見通しをもち、めあてをつかむ。 クイズを出したり答えたりしよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェスチャーをしながら歌い、外国語活動の時間の雰囲気を作る。 ・本時のメニューを提示し、見通しと課題意識をもたせる。
展開 32分	4 Let's Chant "What's this?" 5 スリーヒントクイズ Hint1 : It's an animal Hint2 : It's black and white. Hint3 : It's from China. What's this? It's a panda. That's right. 6 Activity ペアマッチ ① 2人組で、出題側と解答側に分かれる。 ② 出題側と解答側を交代する。	<ul style="list-style-type: none"> ・尋ねる役と答える役に分かれたり、ジェスチャーを入れたりしながら何度も行わせる。 ・デモンストレーションを行い、活動のイメージをもたせる。 ・第3ヒントまでじっくりと聞かせ、その後に解答させる。 ・ヒントの種類 (カテゴリー・色・形) や順序を工夫したりジェスチャーを取り入れたり、分かりやすいヒントになるよう考えさせ、単元の終末の活動につなげる。 ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を聞いたり話したりしている。 【学習活動の様子・振り返りシート】
終末 8分	7 振り返りをする。 本時の振り返りを書く。 ・色や形をヒントにするといいことが分かった。ジェスチャーをしながらヒントを話すと分かりやすい。(第Ⅱ型) ・クイズ大会ではヒントの順番を工夫し楽しい大会にしたい。(第Ⅲ型) 8 Goodbye Song を歌う。	<ul style="list-style-type: none"> ・板書をもとに本時を振り返り、何度もクイズを出したり答えたりできたことを価値付ける。 ・「気付いたこと」という視点を示して振り返りシートに書かせ、相手に分かりやすい表現の方法を意識しながら積極的に活動に参加できたことを価値付ける。

